

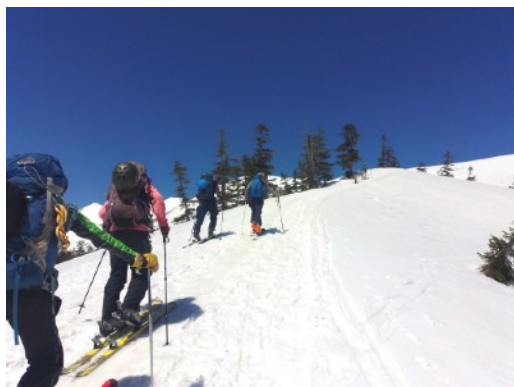
# 白馬乗鞍岳 柵池スキー場より

## 山スキー

2022年04月09日土曜日

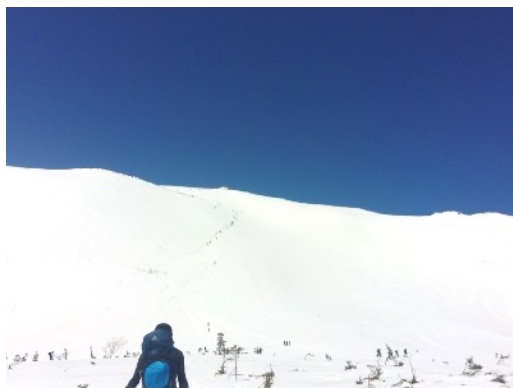
L：池田T、ヤマメ、杉浦、石田、桐林

天気快晴。暑いスキー登りが予想された。杉浦車と池田T車の2台に分かれ、出発。浜松から5時間以上をかけ、小谷村へ。途中池田T車は、まさかの安曇野ICを見逃し麻績ICで降りた。もう通ることはないだろう県道55号で大町市の西の懐へ出た。峠のトンネルを抜けた瞬間、眼前に白粉の北アルプスが広がった。



ロープウェイ山頂駅右手の尾根を登り上げる

スキー場の駐車場が例年よりも満杯で、北側の広い駐車場に入れた。春のリフト券半額祭の影響の様。8時45分よりゴンドラリフトに並び、ロープウェイ山頂駅に10時ごろ到着。出発は10時20分。上記画像のように尾根を行き、それ以降はほぼ夏道通しに進んだ。途中から、ヤマメ、杉浦は自分のペースで登り、池田T・石田・桐林で先行した。11時20分ごろ天狗原の祠を見送り、白馬



石田氏と白馬乗鞍岳東面

乗鞍岳西面を登り始めた。傾斜がキツく、スキーアイゼンが必要かと思われたが、シールが食いつき、快適に上げる。頂上直下になると、風が吹き汗を飛ばしてくれた。頂上標識をタッチしにいつているとき、みんなが私のことを撮っている。なぜだと思っていたら、周りに白い雷鳥が4羽いた。気づかずにドカドカ近くを歩いていたようで、「気づかなかったの？」と近くにいた方に声をかけられた。

山頂から降り杉浦・ヤマメと合流し、東面の北側を滑った。この瞬間を待ちわび、そして気持ちの良い滑降。これだから、山スキーは辞められない。登りの苦しきなど忘れる。春の白馬に抱かれて、行きたい場所がまた1つ増えていく。

(桐林 記)